

平成25年10月23日 【水曜日】

歴史にふれる魅力を体感

増毛山道体験トレッキング

人気高く急きよ追加開催

【留萌発】NPO法人増毛山道の会（伊達東会長）は十九日、増毛山道体験トレッキングを開催した。本年度の一般募集では最後のトレッキング。参加者は、山道の歴史にふれながら、増毛町別対、岩尾ルートフルコース約十六キロを歩ききった（写真）。

増毛山道は、江戸時代に活躍した商人・伊達林右衛門が、安政四年（西暦一八五七年）に石狩市浜益区、増毛町別対間に開通させた延長二十七キロの交易路。山道の歴史を風化させないようにとの思いから、平成二十一年に増毛山道の会が発足。法人会員の小杉測量



計（留萌、小杉忠利社長）が本業の技術を生かして測量を行い、会員と留萌振興

局が協力しながら、山道の復元を進め、二十二年度までに別対、岩尾ルートの約十六キロが開通した。この日開かれた、増毛山道体験トレッキングは、一般募集では本年度最後となるもの。年間六回を予定していたが、一般参加者からの人気が高く、急きよ七回目のトレッキングを追加開催することとなった。

参加者は、山道の歴史についての説明を受けながら歩き、武好駅通や江戸時代末期に電報のやりとりに使った木製の電信柱、標高六百七十二メートルの一等水準点などを見学。雪を被った暑寒別岳など、増毛地区の素晴らしい眺望も楽しんだ。同会は来年度、雄冬山の一等水準点まで山道の復元を延伸したい考え。小杉事務局長は「山道の魅力をさらに増し、理解を深めてもらえれば」と話した。